

全国港湾 第13回港湾労働セミナー 《スケジュール》

6月28日（火）《第一日目》

13：00	集合/受付
13：30	開会セレモニー 司 会：市川書記次長 開会挨拶：糸谷中央執行委員長 挨拶の中で「全国港湾の活動に關し」 ～国民的諸課題（J A L、辺野古、戦争法、 労働法など）について～ 日程説明、諸注意：外池実行委員長
14：30	第一講座／「全国港湾の歴史」 ～産別団交、二者二者協議、事前協議などについて～ 講師：渡辺 三郎 さん（前全国港湾書記長）
15：30	講座に関する質疑
15：50	休憩
16：05	第二講座「全労済の取り組み」 ～共済の種類、内容～ 講師：澤田 安弘 さん（産別・広域推進一部課長補佐）
16：50	講座に関する質疑
17：00	一日目終了/事務連絡
18：00	夕食懇親会（和式）

6月29日(水) 《第二日目》

9：00 第三講座「産別協定について」
～協定の内容・解説など～
講師：玉田 雅也 さん（全国港湾書記長）

10：30 講座に関する質疑

10：40 休憩

10：45 分科会（グループ討論）
～企業内協定は、産別協定より遅れていませんか？～

11：55 午前の部 講座終了/事務連絡

12：00 レクリエーション交流への注意事項・準備・集合写真撮影
昼食 休憩

13：30 レクリエーション交流移動

14：00 レクリエーション（ボウリング）開始

16：30 レクリエーション交流終了/移動

18：00 夕食懇親、レクリエーション交流表彰式(椅子円テーブル)

6月30日(木) 《第三日目》

9：00 第四講座「I T F（国際運輸労連）の取り組み」
～I T Fの説明、T P Pに関してなど～
講師：田口 杉登（I T F東京事務所）

10：10 講座に関する質疑

10：15 休憩

10：20 分科会結果発表

11：20 参加者感想文の提出

11：40 閉会セレモニー
司会：市川書記次長
総評：玉田書記長
閉会挨拶/団結ガンバロー：糸谷中央執行委員長

12：00 解散（昼食休憩）

移設問題の軌跡をみていきます。普天間飛行場がある宜野湾市は、沖縄県の中南部に位置し、東京都港区や兵庫県芦屋市と同程度の面積に約十万人が住み、横浜ベイスターズキャンプ地として知られています。普天間飛行場は街の中心部に位置し、市面積の四分の一（大阪空港の約一・五倍）を占め、その九割は民有地となっています。また、同市の北側にはもう一つの米軍基地があり、合わせると市面積の三分の一が米軍施設によって占められています。

この場所には、役所や民学校、郵便局、病院、旅館の他、いくつもの落が点在し、田畠が広大な丘陵地であります。また、沖縄県の地事務所や農事試験場などの官公署が設置されました。また、繩本島中部の中心地でありました。宜野湾村暮らしの大半はサトウビを中心とした農業で計を立ててきました。

普天間飛行場は、太平洋戦争の末期の沖縄戦際に、上陸した米軍に本本土への爆撃基地として一九四五年六月頃に建設されたのが始ま

～辺野古新基地建設を どう考えるのか～②

五月二十七日（金）九時
から、POC／FOCキャラ

大阪港POC／FOC学習会



ンペーン活動の学習会を大
阪港で開催した。また、二
十八日（土）には、第五回
大阪港セミナーを開催し、
その中でITF東京事務所
瀧代表から講演をいただ
き、ITFの機構内容、各
産別部会の紹介、機関會議
構成、前回大会の結果紹介
とFOC／POCキャンペ
ーンの意味や起源・目
的などの講義を受け、
POCは
学習会は、
ついて藤木インスペク
から説明を受け、十時
訪船活動を十四名のを
行つた。

歴史・
ベン行動を行うにあた
けた。
活動に
クター
時から
中心に、各港にインスペクターを
ターザーが配置できるよう育
成を行い、全国港湾でJT
F協約が締結できる組織と
なるよう、取り組みの強化
を目指したい。

港南港
に乗
る

船しました。しかし、あいにく私達が乗船した五分前に船長が買い物に出かけ不在であったが、チーフ・オフィサーが丁寧に対応してくれました。

チーフ・オフィサーの話では、この本船はITF協約を締結しており、乗組員は全員フィリピン人で特に問題は無いとのことであつた。

今回のキャンペーン活動を開催し、今後全国港湾で独自のPOC・FOCキャ

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

普段、あまり鳴らない
で（よくある間違い電話
な！）と思いながら電話を
取りました。

私は、船名を聞いてどうランクなのか聞きましたが、船名しかわからないところでした。

A black and white illustration of a person from the chest up. They have short, dark hair styled in a flat-top. Their eyes are closed, and they have a neutral or slightly weary expression. They are wearing a dark-colored shirt. In their right hand, they are holding a small, white, crumpled piece of paper or a small object.

普天間飛行場は一戦後六九年もの長期間、本市の中央に存在し、航空機事故の危険性や騒音被害等、市民の生活環境に大きな負担を与え続け、都市機能・交通体系・土地利用等、効率的なまちづくりの阻害要因となつて、経済活動にも影響を及ぼしております」（宜野湾市基地政策部パンフレット二七・三）。次号は「普天間返還から辺野古への経緯」

リコールと聞こえたのでしたが、どうも違うらしく、何度も聞いていると「わからないかな？」と言われた末でした。最終的にOシーガルという船名で船社などがわかったので早速電話して担当の人にその話を伝えました。

担当の人は、船長を通して本人に伝えるとのことでした。

しかし、年を取ると目は悪くなるわ、耳鳴りはしてくるわで、あまりいいことはありません。最近になって老眼を買ったので、次は補聴器を貰わなければならぬのかなー?と思つているこの頃です。